

こんな本を読んできました

日本で2番目に有名なネズミ「ぐりとぐら」お姉さんの中川李枝子さんが文を、山脇百合子さんが絵を書かれた長く愛されている作品です。その山脇さんの生前のインタビューをまとめたこの本は、子どもの頃の思い出や画家として、母として過ごされた日々が、素敵な挿絵とともに紹介されています。

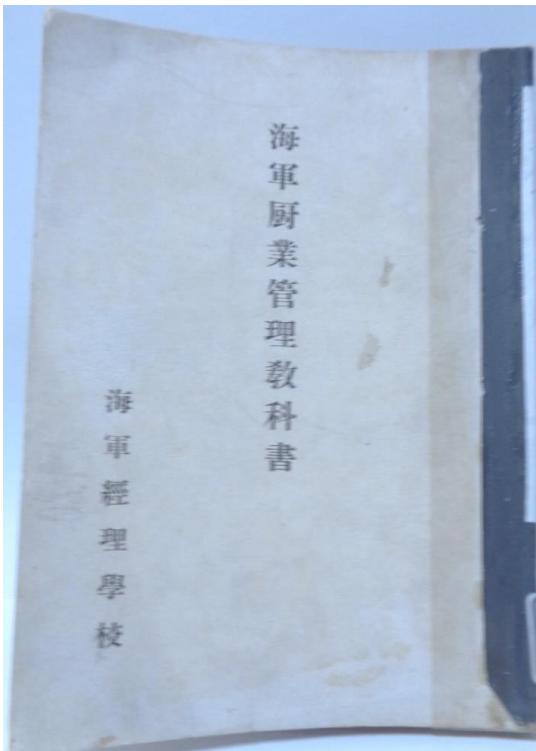
「ゆうこのあさごはん」という絵本に出てくる「たまごさん」は、実際に山脇家の食卓にあったと、『ゆで卵の思い出』で知りました。日常の何気ないひとコマが、豊かな絵本の世界に生まれ変わっていることにワクワクしました。舞台裏を知って、もう1度絵本を読み直すと何倍も味わい深く楽しめました。

ちなみに個人の感想ですが、1番有名なのはミッキーマウスかも？

タイトル 絵本と子どもと歩いた日々
著者 山脇 百合子
編者 のら書店編集部
出版 のら書店



呉市の歴史と関わりの深い「海」に関する所蔵資料を紹介します。



海の文庫

タイトル 海軍厨業管理教科書
著者 海軍經理學校
発行 海軍經理學校

「海軍厨業管理教科書」は呉市のお宝本です。昭和13年に海軍の海軍經理學校が編纂した調理担当の若い隊員向けの教科書です。食品の栄養素や魚のさばき方や巨大な調理器具の使い方など、料理をしたことが無い人にも理屈がわかるように解説した、まさに「教科書」

呉市民が注目すべきは164頁の「甘煮」肉じゃがのレシピです。【一、油入れ送気 二、3分後生牛肉入れ 三、7分後砂糖入れ……】と、きっちり時間設定がされていて海軍らしさを感じられます。

この本は防衛省や舞鶴市のホームページのインターネットでも見ることもできますが、ぜひ手に取って、粗い紙の手触りや巻末に付いる練習問題集の工夫などを、海軍の膨大な食糧を支えた、立ちのぼる蒸気を想像しながら味わってみてください。